

2019春季生活闘争

J R 連 合 F A X ニ ュ ー ス

No. 35

2019年3月4日

日本鉄道労働組合連合会

J R 連 合 東 北 地 協 2 0 1 9 春 闘 学 習 会

組 織 課 題 解 決 と と も に 今 春 闘 に 臨 む

J R 連 合 東 北 地 方 協 議 会 (東 北 地 協) は、3月2日、仙台市内で「2019春闘学習会」を開催した。学習会には、東北地協に結集するジェイアール・イーストユニオン仙台地本の役員などが出席し、2019春季生活闘争での勝利にむけた意思統一を行うとともに、民主化闘争をはじめとする組織課題についても課題認識を共有した。

冒頭、東北地協を代表し挨拶に立った添田寿男議長 (ジェイアール・イーストユニオン仙台地本執行委員長) は、今春闘における現状に触れ、「JR連合の掲げる春闘方針に対する理解を深め、法改正の内容も含めて、成果に向けた取り組みにつなげなければならない」と呼びかけた。また、組織課題について、JR東労組の現状などを説明したうえで「しっかりと意識をあわせて組織拡大に取り組もう」と奮起を促した。

学習会には、JR連合から菅野一位副会長 (ジェイアール・イーストユニオン中央執行委員長)、中山耕介組織・政治部長、中村鉄平交通政策部長が出席し、菅野副会長・中山部長がそれぞれ連帯と激励の挨拶を行った後、中村部長がJR連合の2019春季生活闘争方針とともに、働き方改革関連法の内容と労働組合の取り組みについて説明し、出席者全員で理解を深めた。質疑では、組織課題に関しても発言があり、中山部長から最近の動向を説明し、次の一手について意見を交わした。

また当日は、全国交運共済生協・東日本事業本部東北支所より橋本昭二事業副本部長を招き、昨年自然災害での被災において共済による給付が注目されたことに触れ、東北地協一丸となって加入促進に取り組むことを確認した。

以 上